【意見の対応】
採　　用：意見に基づき原案を修正するもの
一部採用：意見の一部を原案に反映させるもの
不 採 用：意見を原案に反映しないもの
記 載 済：既に原案に盛り込まれているもの
参　　考：原案に盛り込めないが今後参考とするもの
そ の 他：意見として伺ったもの

石狩市次世代育成支援行動計画後期計画策定に対する意見の検討結果

平成２２年２月
保健福祉部こども室子育て支援課

●パブリックコメント実施期間　平成２１年１２月１日（火）から１２月２８日（月）まで

【意見の検討経過】
●平成２２年１月５日：保健福祉部こども室子育て支援課、地域教育推進室、協働推進・市民の声を聴く課において意見の検討
●平成２２年２月１２日：市長決裁

「石狩市次世代育成支援行動計画後期計画」策定に対する意見の検討結果

№	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	こども・あいプランに成果指標、目標事業量が記載されているが、最終的に何を目標とするのか？	その他	こども・あいプランでは、「子どもの生きる力を育てる」「子どもと家庭の救済・支援」「子育てにやさしいまちづくり」の３つを基本目標として位置づけています。この基本目標を達成するため、目標ごとにそれぞれ３つの施策を位置づけ、平成 22 年から５年間において具体の事業等を推進してまいります。なお、成果指標や目標事業量は、事業等の評価と進捗状況について、数値により客観的に把握するため、現時点での実績を踏まえ、ひとつの目安として掲載しております。
2	防犯などの取組について、地域でもあいさつ運動などが実施されているが、庁内でも縦割りではなく市民生活課や教育委員会などと連携して一元化した取組が必要であると考える。	記載済	こども・あいプランは、４ページの「３　計画の位置づけ」に記載されておりますとおり、子ども施策を総合的に進めていくための計画として位置づけています。このため、計画の策定段階から、教育委員会との合同作業を行い、子どもを取り巻く課題の共通認識を図り、計画に反映しました。このほか、子育て支援のみならず母子保健など、様々な分野を横断的に網羅していることから、庁内での連携に努めることにより、一元的な子ども施策の推進を図ってまいります。

3	地域の関係などが希薄になっていることから、あいさつ運動などを通じて、人間関係をつくっていくようなシステムの検討が必要と考える。例えば、団塊の世代などを活用するなど、協働の取組を地域と一緒に進めていくことが望まれる。	記載済	こども・あいプランでは、７ページの「２　計画の基本視点」に記載されておりますとおり、地域や関係機関との「協働」と既存資源やマンパワーを活用した「石狩らしさ」を、全ての施策を貫く視点として位置づけています。さらに、子育て・子育ちを社会全体で協働により支え合うまちづくりを基本理念とし、これを具現化するため施策等を進めてまいります。
4	今回のパブコメ資料はかなりボリュームがあることから、市民に対しては、要約されたものを示すなどの工夫があるといい。	その他	今回の資料は５つの計画をすべて全文で掲載していたため、ご覧いただきにくい資料となってしまい大変ご不便をおかけいたしました。 今後は概要版を作成するなど、市民のみなさんにわかりやすい情報提供の方法を工夫してまいります。